

ダイバーシティ推進のためのワークショップ等企画・運営業務委託 仕様書

1 業務の目的

ダイバーシティは、日本語に訳すと「多様性」です。性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など、誰もが一人ひとり違った個性や能力を持っています。いろいろな出会いは世界を広げ、さまざまな視点が新しいことを生み出します。多様性はプラスであり、職場や地域の中などで多様な人びとが自分らしく参画・活躍できるダイバーシティ社会が求められています。

県では、平成 29 年 12 月に県民の皆さんとともにダイバーシティ社会の実現をめざし取り組んでいく決意表明として「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く、多様な社会へ」を策定し、その考えを県民の皆さんに理解していただくための取組を進めています。

本業務は、ダイバーシティに関する講演やグループワークの開催など、ダイバーシティの推進を図るワークショップ等の取組を実施するとともに、その成果等を発信することにより、県民の行動拡大につなげることを目的とするものです。

なお、本事業は、地方創生の充実・強化に向け、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業の支援などをする内閣府の「地域未来交付金」を活用し、実施するものです。

2 業務名

ダイバーシティ推進のためのワークショップ等企画・運営業務

3 委託期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 1 9 日（金）まで

4 委託業務の内容

(1) ワークショップの内容

①概要

多様性をプラスと捉え、職場や地域の中などで多様な人びとが自分らしく参画・活躍できる社会をめざし、幅広い県民層に対しグループ体験を通じて、ダイバーシティに関して自分ごととしてとらえ、相手の立場になって考え、行動につなげていくための体験型ワークショップを下記のとおり開催し、ダイバーシティの推進を図ります。

(内容について)

・ダイバーシティに理解のある専門的なファシリテーション技術を持った進行者により、五感等を使ったツールを活用し、ダイバーシティの観点を取り入れ、意見交換・発表を参加者同士で行うなどの体験型ワークショップを実施し、気づきを得ることで更なるダイバーシティの理解促進を図る。

・主にアンコンシャス・バイアスなどのダイバーシティ社会推進に関する観点を含むワークショップを実施する。

(開催について)

- ・開催回数は3回とし、3日に分けて対面で実施すること。
(7月～12月の間で開催)
- ・開催時間については、1回あたり1時間～2時間程度とすること。
- ・全体で80名程度の集客に努めること。
- ・各回主たる対象者(親子、学生、企業内の人事・研修担当者等)を変更し、その対象に相応しい場所で開催すること。
- ・1回は、視覚的視点を扱い、「三重県立美術館」で開催すること。
- ・1回は、「三重県立みえこどもの城」で開催すること。
- ・参加費は無料とすること。
- ・希望に応じて手話通訳、要約筆記を実施すること。

【三重県立美術館での開催について】

- ・使用できる時間帯は、閉館後の17時から21時まで。
(準備・片付け等の時間を含む)
- ・8月～10月頃に開催すること。
- ・常設展示室内に椅子を設置し、美術品を鑑賞したうえでダイバーシティの観点を取り入れたワークショップを実施すること。
- ・常設展示室の展示物については3か月に1回入れ替えがあるため、美術館ホームページを確認すること。

○その他(注意事項等)

- ・美術館使用時においては、美術館職員の指示に従うこと。
- ・事業計画に関する詳細な内容については、美術館職員と調整を行うこと。
- ・展示作品や展示室の壁面、展示ケースに触れないこと。
- ・常設展示室で掲示・配布されている撮影のガイドラインに従うこと。
(展示毎に異なります)
- ・常設展示室内では、鉛筆以外の筆記用具は使用不可。

【三重県立みえこどもの城での開催について】

- ・令和8年10月25日(日)又は令和8年11月15日(日)のどちらかで開催すること。
- ・会場は、2階舞台スペースとすること。
- ・主たる対象は親子とし、子どもについては原則小学生とすること。
- ・事業計画に関する詳細な内容については、みえこどもの城職員と調整を行うこと。

②想定テーマ等

「ダイバーシティみえ推進方針」も踏まえ、業務の目的や概要に沿ったものとし、次のとおり考え方を示しますので参考としてください。ダイバーシティの推進に向けたアイデアやヒントにつながるテーマなど、この限りではありませんので、提案をお願いします。

(テーマ設定にあたっての考え方)

- ・多様な人材が共生するコミュニティの事例から、ダイバーシティの視点での課題解決のヒントを見つけ、自分だけでなく周りの行動につなげる

- ・五感を通じて多様性の気づきや大切さを感じられる事例を学び、日々の行動に生かしていく

③その他

ダイバーシティの考え方を理解し、行動につながるよう内容の工夫をお願いします。

(2) 事前準備・当日の運営・事後まとめ等

(ア) 事前準備

ワークショップ等の内容や構成、テーマの検討やトーカーの選定、トーカーとの調整（謝金等の支出を含む）、シナリオ作成、資料の作成、参加者の募集等を行います。

なお、開催にあたっては、募集チラシを各回作成・配布する（各回2000枚）とともにSNS等を活用し、効果的な集客に努めることとします。チラシの送付先・広報に関しては、主たる対象者に合わせて効果的な周知を実施することとします。

(イ) 当日の運営

ワークショップ等の進行、ファシリテーション、議論の取りまとめ、参加者へのアンケート等による意見聴取等を行います。

（ワークショップでは、参加者の意見を引き出し、実践のヒントにつながるアイデア形成の支援をしてください。）

(ウ) 美術館及びみえこどもの城での実施においては、美術館職員、みえこどもの城職員とも連携しながら行うこととします。

(エ) 開催概要の作成

参加者以外の方へ理解促進を図る資料として、県のホームページに掲載するため、A4サイズ2頁程度の開催概要をワードファイル等で作成します。開催概要は、啓発用資料として使えるような文案、デザインとします。

(オ) 上記の実施に必要なその他費用はすべて委託金額に含むものとします。

5 委託業務の実施条件

- (1) 本委託事業の実施にあたっては、業務を円滑に進めるために必要な打合せの機会を設けることとします。また打合せ場所は基本的に三重県環境生活部内とします。
- (2) 本委託事業における実施内容は、提案内容をふまえ、最終的に三重県が決定を行うものとします。
- (3) 委託業務の実施にあたって、契約書及び仕様書に定めのない事項や細部の業務内容については、三重県と協議を重ねながら実施するものとします。
- (4) 本業務において作成した成果品の著作権、特許権、使用权等の諸権利は三重県に属するものとします。
- (5) 本業務の契約にあたり、原則として再委託は認めません。ただし、契約業務の一部を委託する場合について、三重県の承諾を得た場合はこの限りではないものとします。

6 必要書類の提出等

受託事業者は、本業務に係る契約の締結後、速やかに三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課（以下「本課」という。）に以下の書類を提出するものとします。

- (1) 業務計画書
- (2) その他三重県が必要とする書類

7 納品する成果品

委託業務が完了したときは、遅滞なく業務完了報告書（様式任意、A4判・両面印刷）を本課に提出して完了検査を受けることとします。

なお、業務完了報告書には次の項目を含まなければならないものとします。

- (ア) 委託業務の実施内容
- (イ) 委託業務の成果・事業効果の検証結果
- (ウ) 委託業務にかかる支出の費目別内訳
- (エ) その他、事業実施の説明に必要と考えられる資料
- (オ) 上記資料に関する電子データ 1式（CD-R等）

8 特記事項

- (1) 契約の履行にあたっては、個人情報保護に関する法律（平成15年法律第57号）第66条第2項の規定を遵守してください。なお、個人情報保護に関する法律第176条、第180条及び第184条に、委託を受けた事務に従事している者若しくは従事していた者等に対する罰則規定があるので留意してください。
- (2) 受託者は、業務の履行にあたって「三重県の締結する物件関係契約からの暴力団等排除措置要綱」第2条に規定する暴力団、暴力団関係者又は暴力団関係法人等（以下暴力団等という。）による不当介入を受けたときは、次の義務を負うものとします。
 - (ア) 断固として不当介入を拒否すること。
 - (イ) 警察に通報するとともに捜査上必要な協力をすること。
 - (ウ) 委託者に報告すること。
 - (エ) 業務の履行において、暴力団等による不当介入を受けたことにより工程、納期等に遅れが生じる等の被害を生じるおそれがある場合は、委託者と協議を行うこと。
- (3) 受託者が、(2)の(イ)又は(ウ)の義務を怠ったときは、三重県の締結する物件関係契約からの暴力団等排除措置要綱第7条の規定により三重県物件関係落札資格停止要綱に基づく落札資格停止等の措置を講じます。